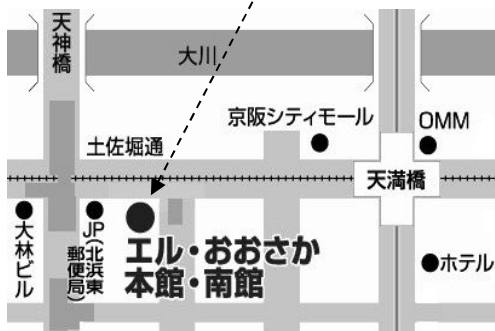


2/9 (金)

エルおおさか
5F 視聴覚室
(地下鉄・京阪 天満橋駅下車)



2月9日 (金曜日)
午後6時開場
—6時半開始
エルおおさか
5F・視聴覚室
資料代800円

—報告と問題提起—

- チェ・ジョンミンさん
[NGO「戦争ない世界」の活動家。]
- 藤井たけしさん
[成均館大学講師、梨花女子大学講師。]
- アキ・アンさん
[アンチミリタリズム活動家。]
- 韓国の兵役拒否者から

■主催：2.9「国家と徴兵制」集会
実行委員会
—呼びかけ人代表：水戸喜世子・中北龍太郎
■賛同団体：戦争あかん！ロックアクション・しないさせない戦争協力関西ネットワーク・東アジア青年交流プロジェクト・ヨンデネット大阪・大阪平和人権センター
■連絡先：Tel06-6364-0123/Fax06-6364-5247 中北法律事務所気付

国家と徴兵制

~ 韓国の兵役拒否者に聞く

朝鮮半島情勢の緊迫が続く中、韓国の若者は満19歳までに兵役検査を受け、就職までの2年間、軍隊生活を経験する。朝鮮戦争勃発後に始まった現在の徴兵制。愛国教育が徹底される韓国で兵役を拒否しようものなら「国家への裏切り」との烙印が押され、就職の道すら閉ざされるなど「社会的な死」が待っているという。兵役は男性の義務、社会で勝ち組になるには避けて通れない関門だ。

いっぽう、良心的兵役拒否の実現を求める若者たちが多くいることはあまり知られていない。徴兵を拒否するために亡命という極端な選択をした人もいれば、留学を理由に日本に逃れてくる若者も少なくない。韓国で兵役拒否をすれば刑事罰が待っている。韓国軍は、旧日本軍から植民地支配時に指導、組織のノウハウを受け継いだため、閉鎖的で自由がなく、いじめ体質が蔓延し、基本的人権がないがしろにされているという。兵役を終えて除隊するまでに心が病んでしまったり、自殺する若者も毎年いる。

日本ではアメリカに隷従するごとく軍事国家化を進める安倍政権が高い支持率を保つ。新安保法制のもと朝鮮半島有事となれば自衛隊が米軍の下請けになり、米軍の戦争に巻き込まれる可能性もゼロではない。仮に緊張が高まれば自衛官の応募は激減し、やがて徴兵制の導入が検討されるかもしれない。いまや日本でも徴兵制は他人事ではない。

「一触即発」とも言われる昨今の朝鮮半島情勢を受け、良心的兵役拒否を掲げる韓国の若者からみた軍隊とはどういうものなのか。徴兵は若者をどう変えるのか。徴兵拒否を続けた場合に、どんな目にあうのか。平和と自由を心から求めてやまない韓国人の若者目線で、「軍隊」と「良心的兵役拒否」について語りあい、彼らから学びと気づきを得るだろう私たちに、何が出来るかを考えたい。

多くの方の関心と本集会への参加を訴えます。